

## 見聞二感

鐵道省神戸改良事務所長

山田正隆

經驗淺き凡庸の悲しさは特に記すべきもの  
を持ぬけれども、工事として今まで

見たり聞いたりした中で、

丹那隧道の掘鑿はさ難工事はない様に思ふ  
該工事に直面せらるゝ方々に對し滿腔の敬意  
を拂ふ所である、尊き力と金と時とは何物を  
も征服するであらうが、切に其成功の速かなら  
んことを祈てやまぬ、併し工事難は峰にあ  
らず水にもあらずして矢張り人の誠意と理解  
との奈何に繋るものではなからうか。似て非  
なる譬かは知ぬが、

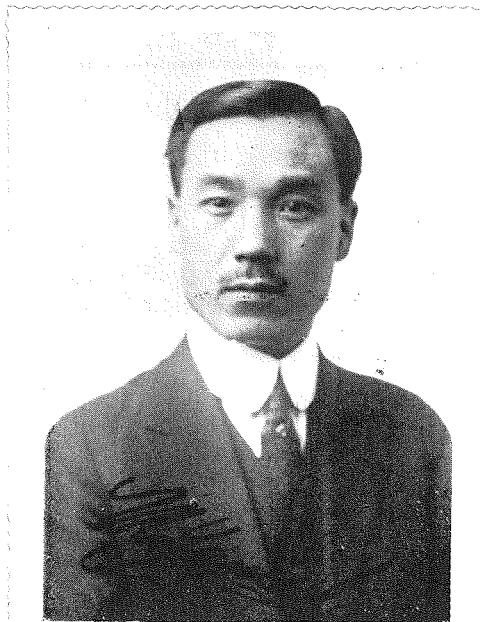
加茂川の水の自由

を制するよりも寧ろ山法師の團結を禦する  
方が難事だつたらう。諸方面との大小の事務  
的解決は吾人に執りて工事其物よりも煩惱の  
大なる場合がある。

工事美談としては餘りに周知のこゝなるも  
彼の有名なる「クエベック」大橋梁を紐育市  
の地下鐵道を擧げたい、前者は再度の失敗  
にも怯まず、

多くの犠牲に甘じて

工事を敢行したる、又後者に在りては世界  
大戰の際物價勞銀の暴騰したるにも拘らず、  
些の單價増額をも得ずして之を完成したる各  
請負業者の勇氣と襟度には敬服の外ない、  
移して以て吾邦斯界の鑑としたい。



Mr. M. Yamada.  
Imperial Government Railway Dep't.  
Improving Division Manager.

鐵道省神戸改良事務所長 山田正隆氏

工事の犠牲的美談としては稍核心を離れて  
をらんも線路工事を聯想したい、椽の下の力  
持とも評せらるゝ極めて地味なる、而も列車  
運行の根幹とも言ふべき重要な業務に當り、  
苟も些の瑕瑾だも忽にせざらんこの渠等の焦  
慮と努力とは眞に涙ぐまじき極である、何卒  
して汎く一般に了解したいものである。

格言でも名句でもないが、

「汝の職を愛せよ」。

(33頁よりつづく)

持がする。

尤もそれは人口問題も職業問題も起らなかつた時代と、さうではない現在の相違が『移り氣』せしめ得ざらしめたでもあらう

今のやうに機械文明が進んで来るに人々は夫々餘りに専門的になるそして一般的には一寸不便を感じるやうになる。例へば土木工事等に於て使用してゐる機械が故障した場合その故障が些細な簡單なものであつてもわざわざ

ざ他人を煩はすといふ例は澤山ある、早い話が醫者の場合に外科内科等の専門があり、外科の手術のときに内科醫を立會しめなければならぬやうなこゝになる、醫者の場合は大切な人命に關るこゝだからさうした慎重さは必要であるが、土木工事の機械の故障位の場合に人を煩さなければならぬといふこゝは不便なこゝである。専門的になるこゝはよい、けれどもそれがために不便を感じるこゝは餘り感心できぬと思ふ。